

# 職業紹介事業における 職種別手数料、離職状況について

医療・介護・保育分野の手数料、離職状況について、作成した資料をお示しいたします。

本年4月から、個々の職業紹介事業者に職種別の手数料率実績の開示義務(※)を課し、人材サービス総合サイトで閲覧・検索が可能となりました。これにより、病院・施設等の求人者の方が、採用予定の地域・職種・手数料率を入力することで、該当する紹介所を一覧で比較可能となり、また、手数料率の多寡順に並べ替えることや、詳細情報として、年間の就職実績、離職状況を見るができるようになりました。

(※)人材サービス総合サイトに常用就職が多い上位5職種について掲載することとしているもの(常用就職の年間件数が10件以下の場合は掲載不要)。

この開示情報等に基づき作成した資料から、以下の点が確認されました。

## <手数料率実績の構成比について>

手数料率実績について、10%ごとのレンジに区分した上で、構成比を主な取扱職種別にあらわしたもの。

医師、看護、保育、介護、一般事務・秘書・受付の職業は20.1%～30.0%レンジの割合が高く、法人・団体管理職員、情報処理・通信技術者、経営・金融・保険の専門的職業、営業の職業は30.1%～40.0%レンジの割合が高くなっている。

## <離職率の構成比について>

離職率(※)について、10%ごとのレンジに区分した上で、構成比を主な取扱職種別にあらわしたもの。

看護、保育、介護は0.0%のレンジに次いで10.1%～20.0%レンジの割合が高く、医師、一般事務・秘書・受付の職業、法人・団体管理職員、情報処理・通信技術者、経営・金融・保険の専門的職業、営業の職業は0.0%のレンジに次いで0.1%～10.0%レンジの割合が高くなっている。

(※)事業所ごとの常用就職件数(令和4年度実績。無期雇用のみ)とそれに係る離職者数(就職後6ヶ月以内の離職)により算出したもの。

## <手数料率実績・離職率分布について>

医師、看護、保育、介護について、手数料率実績、6ヶ月以内の離職率をプロットしたもの。

手数料率実績の高低で離職率に大きな差は見られなかった。

職業紹介事業者を選択する際の参考としていただくなど、適宜、ご活用いただきますようお願いします。

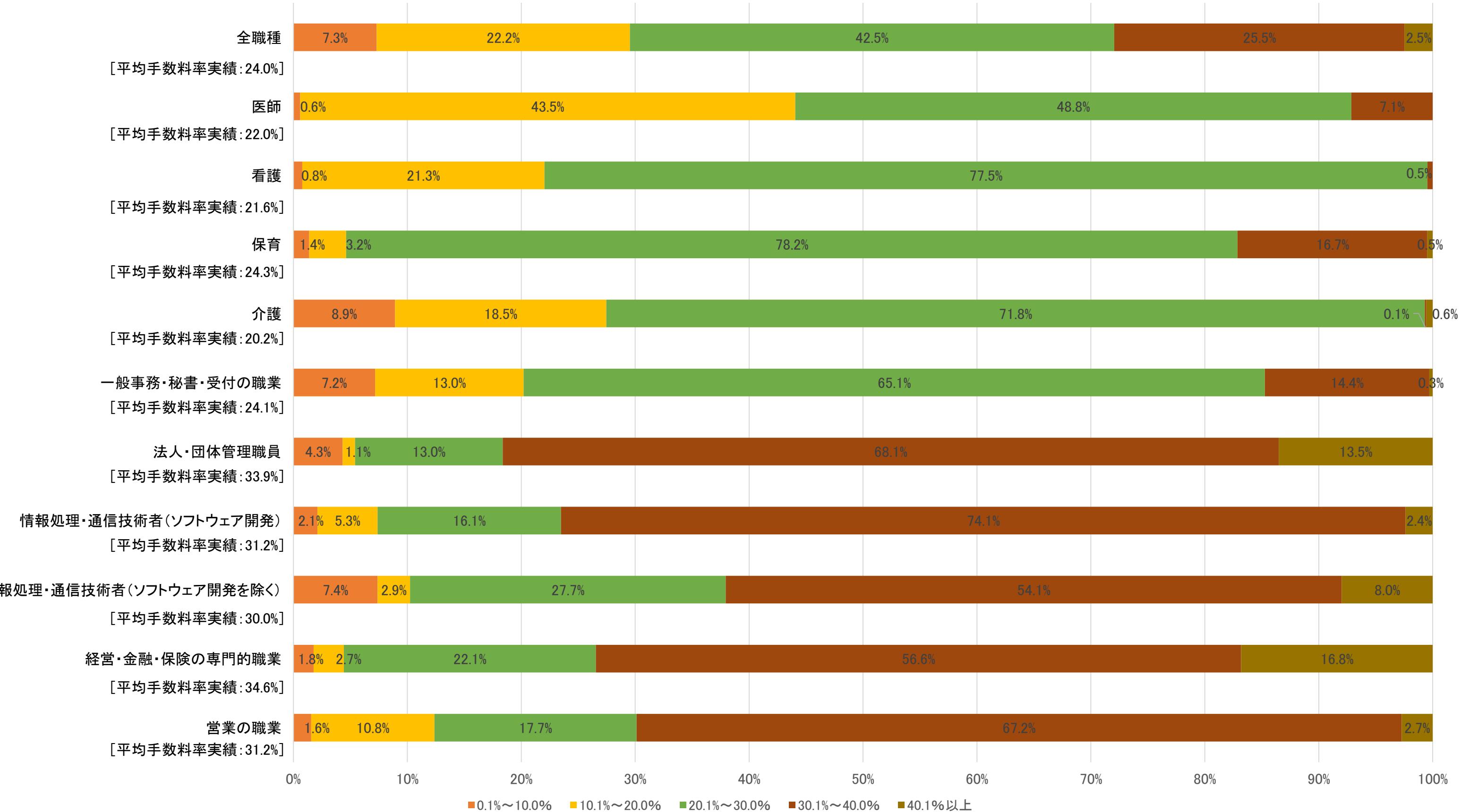
お問い合わせ先

厚生労働省職業安定局需給調整事業課職業紹介事業係

TEL:03-5253-1111(内線5746)



# 手数料率実績の構成比(主な取扱職種別)

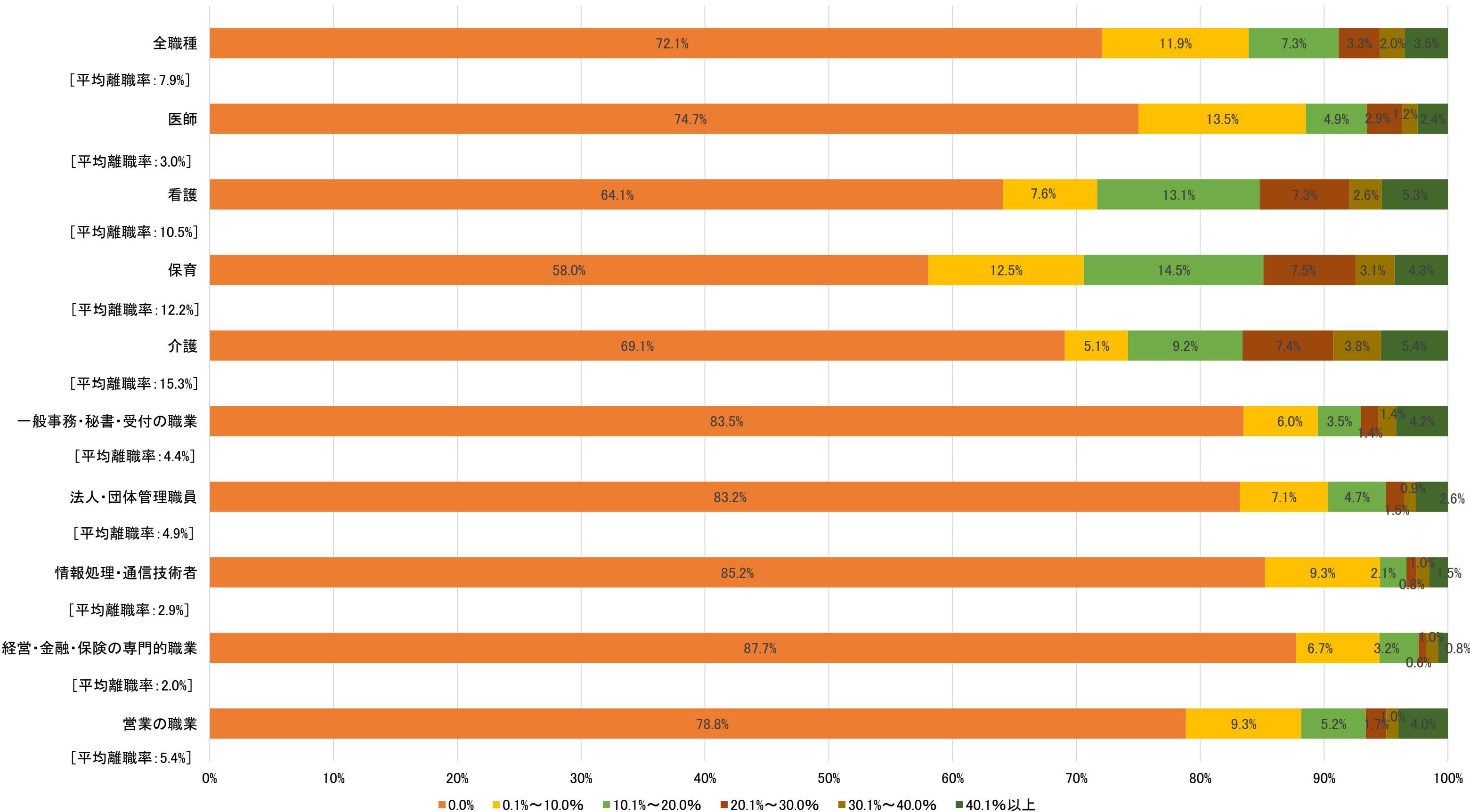


## [資料の見方]

人材サービス総合サイトに掲載されている(※)手数料率実績について主な取扱職種別に構成比をあらわしたもの。手数料率実績は、令和6年度における常用就職1件当たりの実績の平均(令和7年10月末時点人材サービス総合サイト掲載分)。

(※)常用就職が多い上位5職種について掲載することとしており(常用就職の件数が10件以下の場合は掲載不要)、全職種で計5,659件掲載されている。「平均手数料率実績」は、事業所ごとの手数料率実績の平均であり、各事業所の就職件数による重みづけを行ったものでないことに留意。

# 離職率の構成比(主な取扱職種別)



## [資料の見方]

令和5年度事業報告に基づき算出した離職率(※)について主な取扱職種別に構成比をあらわしたものであり、全職種で9,730件。  
 (※)事業所ごとの常用就職件数(令和4年度実績。無期雇用のみ)とそれに係る離職者数(就職後6ヶ月以内の離職)により算出。  
 「平均離職率」は、事業所ごとの離職率の平均であり、各事業所の就職件数による重みづけを行ったものでないことに留意。

# 手数料率実績・離職率の分布

## [資料の見方]

令和4年度に常用就職の実績があり、令和7年10月末時点で人材サービス総合サイトに手数料率実績を掲載している事業所を対象に、医師、看護、保育、介護の手数料率実績・離職率を分布図であらわしたもの。

- 手数料率実績は、令和6年度における常用就職1件当たりの実績の平均(令和7年10月末時点人材サービス総合サイト掲載分)。
- 離職率は、事業所ごとの常用就職件数(令和4年度実績。無期雇用のみ)とそれに係る離職者数(就職後6ヶ月以内の離職)により算出。

